

2010
海外生活環境指数表

COMPANY : ALL
WEIGHT : 標準

	日本	比較都市
1. 物理的・実態的側面		
A 政治環境	100	74
B 経済環境	100	68
C 社会文化環境	100	59
D 生活物資調達環境	100	72
E 自然環境	100	78
F 遠隔性	100	80
2. 生活のしやすさ側面		
S 安全度	100	62
Cv 便利度	100	71
Cf 快適度	100	69
3. 総合生活環境指数		
	100	67

2010 要素別評価表

S: Safety(安全度)
Cv: Convenience(便利度)
Cf: Comfort(快適度)

COMPANY: ALL

物理的・実態的側面	生活の しやすさ	評価 ポイント	物理的・実態的側面	生活の しやすさ	評価 ポイント
A. 政治環境			29. 娯楽(外食)		
1. 対外関係(戦争・紛争)	S	7		Cf	6
2. 一般治安	S	7	30. 娯楽(芸術)	Cf	5
3. 身の安全	S	5	31. 娯楽(スポーツ)	Cf	7
4. 出入国規制	S	8	32. 娯楽(行楽地)	Cf	4
B. 経済環境			33. 娯楽(飲酒)	Cf	8
5. 現地通貨の交換性	Cv	6	34. 社交(在留邦人数)	Cf	8
6. 物価変動	Cv	7	D. 生活物資調達環境		
C. 社会文化環境			35. 食料(日本類似米)	Cv	6
7. 文化・習慣	Cf	5	36. 食料(魚介類)	Cv	5
8. 宗教	Cf	8	37. 食料(牛肉)	Cv	6
9. イデオロギー・政治体制	Cf	4	38. 食料(その他肉類)	Cv	6
10. 対日感情	Cf	6	39. 食料(生鮮野菜)	Cv	7
11. 言語	Cf	4	40. 食料(果物類)	Cv	8
12. 人権の保護	S	5	41. 食料(日本食料品)	Cv	6
13. 医療(医療水準)	S	4	42. 住宅(賃貸)	Cf	7
14. 医療(医療サービス)	S	7	43. 住宅(冷暖房)	Cf	6
15. 医療(日用医療品)	S	6	44. 日用家庭用品・衣料	Cv	7
16. 衛生(全般環境)	S	4	45. 家電品	Cv	7
17. 衛生(上水道)	S	4	46. 電気	Cv	7
18. 衛生(下水道)	S	6	47. 水道	Cv	6
19. 衛生(疾病・風土病)	S	6	48. 燃料	Cv	8
20. 公害(大気汚染)	S	2	49. サービス(銀行)	Cv	6
21. 子女教育	Cv	9	50. 自動車(入手)	Cv	8
22. 交通(公共交通機関)	Cv	6	51. 自動車(メンテナンスサービス)	Cv	6
23. 交通(道路網)	Cf	4	E. 自然環境		
24. 通信(電話・インターネット)	Cv	7	52. 気候	Cf	4
25. 通信(郵便)	Cv	6	53. 天災	Cf	8
26. 情報(テレビ)	Cf	8	54. 高度	Cf	10
27. 情報(新聞)	Cv	8	55. 害虫	Cf	5
28. 情報(雑誌・書籍)	Cv	5	F. 遠隔性		
			56. 日本への所要時間	Cv	8

2010 コメント

【A 政治環境】

共産党一党独裁政権の下、政情は概ね安定しているが、新疆ウイグルやチベットでの暴動問題が発生するなど少数民族との対立が続いている。また、経済発展が著しい都市部と、農村部との貧富の差が拡大している。潜在的な反日感情は根強く、日本政府の対応によっては抗日運動が表面化する可能性が十分ある。国慶節や春節前にはスリや強盗が多発する傾向があるほか、抗日デモが発生する恐れがあるため、外出を控えるなど、注意が必要である。広州では、地下鉄内や繁華街においてひったくりやスリ、置き引き、強盗といった犯罪が頻繁に発生している。

【B 経済環境】

世界的な不況が続く中、政府による国内景気刺激策により、中国経済は順調な回復を遂げている。現在、通貨元は通貨バスケットによる管理フロート制をとっているが、実質米ドルに連動しており、円高元安が進んでいる。今後、元の切り上げが実施される可能性がある。元から外貨への両替には規制があるため、不便である。また、多くの偽札が流通しているため、注意が必要である。不動産価格の上昇が目立ち、バブルの様相を呈している。その他食料品等も将来的なインフレが懸念されている。

【C 社会文化環境】

政府によるテレビ、インターネット等の情報統制により、(中外)正確な情報の入手が時として困難である。自動車の急増による交通混雑の悪化が著しい。また、自動車の排気ガス等による大気汚染が深刻な問題となっており、喘息などの健康被害を訴える人が多い。現在、2010年アジア競技大会に向け、道路や歩道、地下鉄、バス等の交通インフラ拡充が進められている。交通マナーは悪く、交通事故が頻発しているため、運転時および歩行時には細心の注意が必要とされる。言語は広東語が主流となっており、北京語が通じないこともある。歯科治療を含め、医療水準が劣る病院があるため、病院の選択には注意が必要である。

【D 生活物資調達環境】

日系、欧米系スーパーが進出しているため、基本的な日用品や食材の調達には不自由はない。ただし、中国人を対象とした品揃えであるため、日本食材は品数や種類が限定的で、価格も高めである。野菜の残留農薬の問題など、食材の品質には不安が残る。電気、水道は整備されているが、水道水は飲用には適さない。

【E 自然環境】

年間を通して高温多湿で、特に4月から10月は不快である。雨の多い季節にはスコールで道路が冠水することがある。緑は比較的多い。

【F 遠隔性】

日本(東京・大阪)への直行便が毎日運航されている。名古屋、福岡への直行便もある。